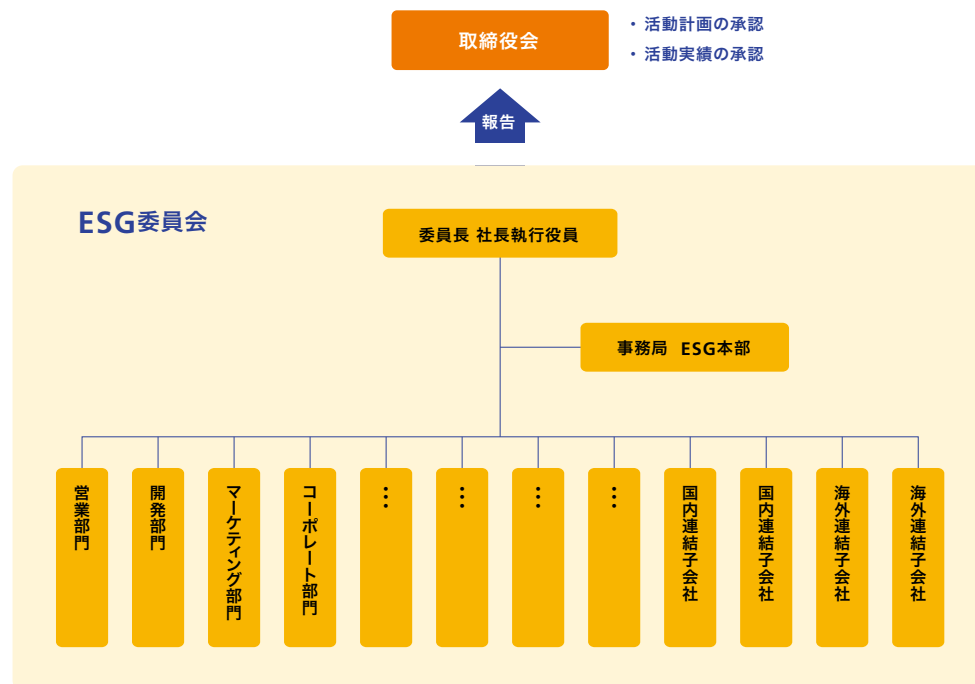


マネジメント体制

2-9,2-12,2-13,2-14,2-17

ESG推進体制

当社では、ステークホルダーの期待に応えるESG活動を具現化し、円滑に推進するための体制を構築しています。社長執行役員を委員長とした全社横断の推進組織「ESG委員会」を年4回開催し、ESGに関わる活動状況を共有し、経営に活かしています。



ESG委員会の役割

- ①中長期ESG目標「Kyo-sei Life Vision 2030」および中期経営計画に関する進捗状況の審議・決定。
- ②グループ全体のサステナビリティやESGに関するリスクと機会および重要課題の特定と対応、情報開示に関する審議・決定。
- ③ESGに関する審議・決定した内容の取締役会への報告。

ESG委員会における主な取り組みテーマと分類

ISO26000 中核主題	組織統治、人権、労働慣行、環境、公正な事業慣行、消費者課題、コミュニティ参画および開発
E 主な取り組みテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> 気候変動：温室効果ガス、エネルギー使用管理、気候変動リスク 水資源：水使用、水使用量削減 汚染と資源：廃棄物、資源使用、リサイクル 	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーン：サプライヤー方針、環境問題、持続可能な森林資源・パーム油調達 生物多様性 環境配慮型商品の開発
S 主な取り組みテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> 労働基準：児童労働の禁止、強制労働の禁止、差別禁止、結社の自由、団体交渉権、最低賃金、ハラスメントの防止 健康、安全 人権：デュー・ディリジェンス、子どもの権利、児童労働の禁止、地域雇用、苦情処理 社会：コミュニティ投資、社会貢献活動 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客に対する責任：責任ある広告とマーケティング、顧客満足 サプライチェーン：児童労働の禁止、強制労働の禁止、差別禁止、結社の自由、団体交渉権、最低賃金、健康安全、デュー・ディリジェンス、能力開発 商品品質、商品安全
G 主な取り組みテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> 腐敗防止：贈賄、インサイダー取引、内部通報制度、教育、リスク評価 コーポレート・ガバナンス 	<ul style="list-style-type: none"> 全社的なリスクマネジメント：環境、社会、コーポレート・ガバナンス コンプライアンス 税の透明性

2022年はESG委員会を4回開催し、以下の討議を実施しました。

主な討議テーマ(2022年)

中長期ESG目標「Kyo-sei Life Vision 2030」「環境目標2030」および中期経営計画に関する進捗状況

- 再生可能電力の活用について
- 脱炭素の取り組みについて
- 持続可能性に貢献する社内基準「SDGs Theme Guideline」の運用について
- Sedex活用と人権の取り組みについて
- 統合レポート、サステナビリティレポートの制作方針、進捗について